

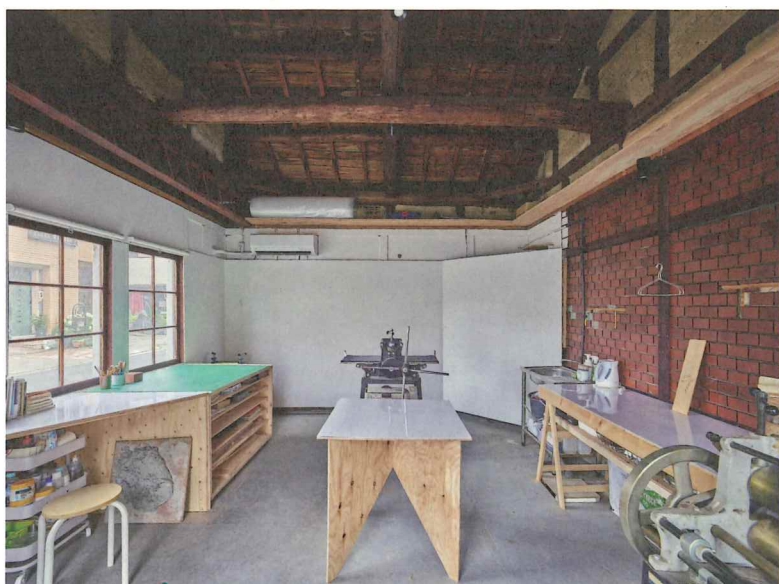
Sayako Oguri



Wataru Nakamura



Haroba (studio)
Photo: Semi photograph



名古屋市港区を拠点に活動する、オルタナティブスペース／版画スタジオ「波止場 (studio)」は、アーティストとの共同によって新たな版画作品を制作するプロジェクト「刷れば、」を実施します。今回、アーティストの小栗沙弥子、中村航の2名をゲストとして招聘し、波止場 (studio)にて版画作品の制作を行い、その成果を発表します。小栗と中村はそれぞれ絵画や立体などを主な表現手段としていますが、本プロジェクトを通して「版」による表現に取り組みます。本プロジェクトでは、異なる表現手法を使うアーティストが版画制作に取り組むことで、新たな視点から作品を見つめる機会となることを期待しています。

Barrackがディレクションを担当して4回目を迎える次世代アーティスト企画展は、前回の「project space hazi/楊七」に続いて愛知のオルタナティブスペースに焦点を当てる。今回紹介するのは、版画家・山口麻加が主宰する版画スタジオ「波止場 (studio)」である。2016年に新栄で発足し、現在の港区に移転以降もオープンスタジオやワークショップを中心に活動を続け、今年で10年を迎える。(studio)とあるように、波止場にはプレス機があり、版画を制作する設備がある。4畳半でも6畳でもとりあえず空間があれば成立する油絵などの絵画とは違い、版画は専門的な工房 (インフラ) を不可欠とする場合が多い。一点物を武器にする絵画や彫刻に対し、その本質は「エディション (複数性)」にあり、古くは風刺画や日本の浮世絵のように、社会へ広く波及する強力な視覚メディアであった。今回の企画では、山口の呼びかけに応じたアーティストが波止場にて版画制作を行う。知識とインフラを「共有」し、他ジャンルのアーティストが技術的な協働の過程において、その制作のプロセス自体に触れていく。

——— Barrack 古畑大気

変化が常態となり、先行きが見通しにくい時代にあって、アートには新たな視点をもたらし、人と人との対話を育み、多様な価値を共創する力がこれまで以上に求められています。公共施設である市民ギャラリー栄もまた、そのような創造の場として、多様な表現が交わり、新たな可能性が生まれる機会を創出していくことが期待されています。この次世代アーティスト企画展は、多くの皆様のご支援のもと継続して開催を重ね、若手アーティストの挑戦を後押しするとともに、新たな出会いや交流を育む場として着実にその役割を広げてまいりました。今回は、版画を一つの表現媒体として位置づけ、絵画や立体を主な表現とするアーティストが、新たな制作に挑戦します。異なる表現領域が版画というメディアを介して交差することで、それぞれの表現に新たな視点をもたらされ、創造の可能性がさらに広がる機会となることを期待しています。本展が、アーティストと来場者、そして地域社会を結ぶ新たな対話の契機となり、多様な感性が響き合う場となることを願っています。市民ギャラリー栄は、これからも次代を担う表現者とともに、新たな文化の創造と発信に取り組んでまいります。

——— 市民ギャラリー栄 館長 宮田健

小栗 沙弥子 Sayako Oguri | 美術作家

岐阜県生まれ。同地在住。日常の中で発生する瑣末な不用物やそれにつながる出来事を基点に作品を制作する。近年の主な展覧会に「個展 After Nakhon Pathom」(SEASUN、愛知、2025年)、「Funny boneと移動する日常」(茨木市立ギャラリー他、大阪、2024年)、「第3期コレクション展」(愛知県美術館、愛知、2022年)など。
sayakooguri.weebly.com

中村 航 Wataru Nakamura | アーティスト

大阪府生まれ。同地在住。アメリカ、カリフォルニア州などで美術を学び、帰国。絵画作品を中心に制作、発表している。近年の主な個展に「Trying to let paint talk」(JINGU 339、愛知、2026年)、「Recent paintings」(JINGU 339、愛知、2025年)、など。

波止場 (studio)

版画家の山口麻加が主宰するオルタナティブスペース／版画スタジオ。2016年に名古屋市中区にて活動を開始し、複数の展覧会やイベントを実施。2021年より名古屋市港区にスペースを移転し活動が続いている。

hatoba-nagoya.themedia.jp

次世代アーティスト企画展

「波止場 (studio)」

小栗 沙弥子／中村 航
刷れば、

If you were to print it,
Sayako Oguri / Wataru Nakamura

2026年8月15日(土) — 8月30日(日)

9:30-19:00 ※8月30日(日)は9:30-17:00

市民ギャラリー栄 第10展示室 (8F)

波止場 (studio)*

*ウィンドーギャラリーのため、窓から作品をご覧いただけます。

【イベント】

話す会

アーティストとともに波止場 (studio)での制作を振り返りながら、版画や版表現について考えます。

日時 | 8月16日(日) 15:00-17:00

場所 | 市民ギャラリー栄 第10展示室 (8F)

登壇 | 小栗 沙弥子、中村 航、山口 麻加 [波止場 (studio) 主宰]

波止場 (studio) オープンスタジオ

本プロジェクトの拠点である「波止場 (studio)」をオープンします。

日時 | 8月22日(土) 13:00-18:00

場所 | 波止場 (studio)

入場 | 無料

参加アーティスト | 小栗 沙弥子、中村 航、山口 麻加 [波止場 (studio) 主宰]

【アクセス】

名古屋市民ギャラリー栄

名古屋市中区栄四丁目1番8号 中区役所平和不動産共同ビル7階

・地下鉄東山線名城線「栄」下車 12番出口東へ徒歩1分

・市バス「栄」下車 徒歩5分

波止場 (studio)

名古屋市中区栄1丁目2-23 (旧・喫茶アラモ)

・地下鉄名港線「築地口」下車 3番出口より徒歩3分

主催 | 公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 市民ギャラリー栄
ディレクション | Barrack